

別中ありがとう

別所中学校学校通信
2022年度 NO.8
11月1日(火)発行

読書の秋 読書と脳の関係は？

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、秋を彩る言葉はたくさんありますが、読書の秋もそのひとつです。別所中学校では秋だけでなく、年間を通じて朝の読書に取り組んでいます。読書は脳とどう関係しているのでしょうか？

有名な脳科学者である茂木健一郎氏は、脳にとって読書は刺激である。本を読んで何かに感動したり、興味を持ったりする経験を積み重ねることで、読書に関する脳の回路が強化され、結果として考える力やコミュニケーション能力が高くなる、としています。読書という活動のなかで文字から様々な想像を膨らませ、何かを感じ取ることは、柔らかい脳を持つ中学生の時期こそ大切です。

読書が好きな人もいれば、そうでない人もいるでしょう。また、最近では読書は紙でなく、デジタル画面からという人もいるかもしれません。(私はやはり紙の本が落ち着くのですが…)しかし、どんな人にとっても読書という行為が脳に与える影響は同じです。読書が脳を強化する時間であると同時に、新しいことを知る喜び、感情が動く楽しさのある時間であってほしいと思っています。

地域で見つけた風景 ～秋の太陽に向かって咲くひまわり～



別所地区を走る県道沿いに秋のひまわりを見つけました。ひまわりといえば太陽に向かって咲く姿から、「憧れ」「情熱」などの花言葉を持つ花です。夏の花という印象ですが、透き通る青の秋空をバックに、夏と同じように太陽に向かって力強く咲くひまわりの姿から元気をもらいました。

《保護者・地域の皆様へ》



11月には1年生が県立芸術文化センターでプロの演奏に触れる「わくわくオーケストラ教室」、2年生が地域の事業所などで5日間活動する「トライやる・ウィーク」、3年生が希望する高等学校に足を運ぶ「オープンハイスクール」など、実際に自分たちがその場へ行き体験する活動が予定されています。文字や映像などの情報からではなく、その場の空気を吸い、自分で見て、聞いて感じ取ることができる、そんな体験になって欲しいと考えております。学校外の活動になりますので、保護者や地域の方々にはご迷惑をおかけすることがあるかも知れません。特に「トライやる・ウィーク」は、昨年度2日間の活動でしたが、今年度は5日間の活動として、地域の事業所等で活動させていただきます。

どの体験も生徒たちにとって、様々なことを学ぶ貴重な機会となるよう準備を進めております。活動に際しまして、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

学校長 坂田 直裕